

2019年7月30日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館の移転および 「SOMPO美術館」の開館

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二）は、現在新宿本社ビル 42 階に所在する「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」（以下「現美術館」）を本社ビル敷地内に建築中の新たな美術館棟へ移転し、2020 年 5 月 28 日に「SOMPO美術館」として開館することとしましたので、お知らせします。

現美術館は 1976 年に開館し、43 年の歴史を重ねてきました。SOMPO美術館は、引き続き、新宿から世界へ芸術文化を情報発信し、新たなアートランドマークとして地域の発展に一層貢献していきます。

1. 名称および新マーク・ロゴ

(1) 名称

SOMPO美術館

(英字 Sompo Museum of Art)

(2) 新マーク・ロゴ



現美術館は、東郷青児の作品約 240 点を収蔵しており、このマークはその中の一点「超現実派の散歩」をモチーフにしたものです。優れた美術作品と出会ったとき、人は心が解放され、作品世界で遊ぶような感覚を覚えます。この作品の「散歩する人」はそうした心の自由を表しています。

2. SOMPO美術館の概要

(1) 建物

本社ビルとの調和を意識したやわらかな曲線をモチーフとした外観デザインです。



建築面積：576.37 m²
延床面積：3,955.65 m²
高さ：39.9m
階数：地上 6 階地下 1 階
構造：鉄筋コンクリート造
施工：大成・清水・鴻池建設共同企業体
設計：大成建設株式会社一級建築士事務所
監修：株式会社松下・樋口・翠建築研究室
展示室デザイン：株式会社丹青社

(2) 館内

一つひとつの作品とじっくり向き合える展示室（3～5階展示室）や美術鑑賞の余韻を楽しめる居心地のよい空間（2階ミュージアムショップ&休憩スペース）で、来館するお客さまへ心豊かになる時間を提供します。

■3～5階：展示室

- ・総展示室面積：約755㎡
- ・天井高：4m



白を基調とした空間に作品が浮かび上がる展示室です。可変性の高い展示設備を配し、多様な展示構成が可能となりました。



美術館のコレクションを代表する、ゴッホの《ひまわり》は、作品をより一層身近に感じられる展示方法を採用しています。

■2階：ミュージアムショップ &休憩スペース



美術鑑賞の余韻を残したまま、買い物や休憩を楽しめるやすらぎの空間です。ゆるやかに弧を描く窓面、高さ5mの木材天井が建物の造形と調和し、空間を柔らかく包みこみます。

■1階：エントランス



上品なタイルの床、白い壁と木材の天井によるエントランスホールが来館者を心地よくお迎えします。通り側から本社ビル側へ東西に抜ける大きな開口部が、街と美術館をつなげます。



前庭にはゴッホ《ひまわり》の陶板複製画を、外周には新マーク・ロゴのフラッグを配置し、文化的空間を演出します。

3. 開館記念展

新しい門出を迎えるにあたり、新美術館の建物と空間を皆さまにお披露目するため、普段ご覧いただく機会の少ない収蔵品を一堂に展示します。ゴッホの《ひまわり》の常設展示のほか、春と夏の2期で大幅に展示内容を入れ替え、ゴーギャンなどによるフランス近代絵画、美術館にゆかりのある画家東郷青児の作品と関連資料、日本美術界の重要な画家や若手作家による作品をご紹介します。

■開館記念展Ⅰ 珠玉のコレクション 2020年5月28日(木)～7月5日(日)

■開館記念展Ⅱ 秘蔵の東郷青児 2020年7月18日(土)～9月4日(金)

4. 今後の予定

2020年10月からゴッホに関する特別展を開催予定です。詳細は、2019年10月にお知らせします。